

「不燃材への漆塗技術」グッドデザイン賞 受賞

— コンクリートや新建材への漆塗布技術 —

特許出願中

1) 概要

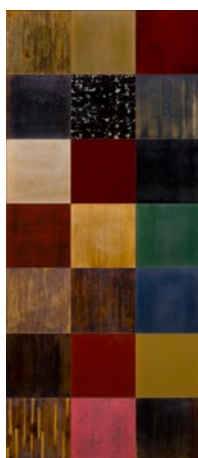
現代建築における漆の可能性を追求し、漆の下地としては用いることはないアルカリ性の建材（コンクリート・ケイ酸カルシウム板など）に特殊な技術を用いることで美しい漆の仕上げを可能とした。

素材の持つ表情を活かした漆独特の意匠表現が可能となり、漆の新しい可能性を感じさせる。

建築と漆の融合を技術的な困難を乗り越えて実現。あらかじめ漆加工された不燃材パネルとして用いることで、現場での手間を大幅に減らし、エントランスやホールなどの装飾的な壁面としても利用することができる。また、コンクリート建築においては、コンクリートが持つ表情を漆によってさらに引き立て、今まで見たことがない素材を活かした表情をつくり出すことが可能となった。

2) 評価のポイント — 審査員のコメント

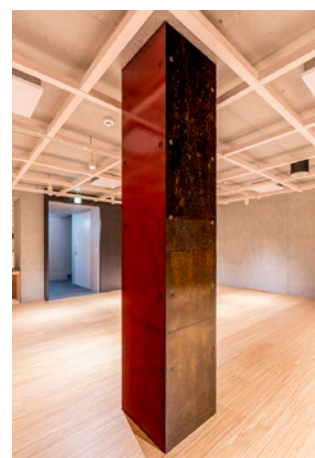
漆をコンクリートに施すという、新しい試みである。コンクリートというなじみのある素材に漆が意外にマッチし、表情は豊か。コンクリートはどちらかというとなりな材料であるが、漆を施すことで、高級な質感を生み出している。一方で、漆は高級な材料で、かつ、和風の限定したイメージがあるため、活躍の場が限られていたが、本手法では、漆を広いテイストの空間に合わせていくことができ、用途を広げることができる。



ケイカル板への施工例



コンクリート製キッチンへの施工例



コンクリート柱への施工例